

教科名	社会科	科目	公民B	週授業時間	2時間
-----	-----	----	-----	-------	-----

1. 教科書および副教材・参考書

中学社会 公民(教育出版)

公民の完全学習 (正進社)

2. 授業の目標および内容

- ① 日本および世界の経済についての理論と実際の動向について学習をします。
- ② すでに学んでいる地理・歴史の学習を踏まえ、国際社会の一員としての日本および日本人という位置付けを理解し世界平和と国際交流に貢献できる資質を養います。
- ③ 新聞の政治経済に関する記事やニュース番組の内容を理解できる基礎知識を養います。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験			第1回 9月	第2回 2月	

内容・難易度について

- ① 定期試験：50 点満点で行います(公民Aと合わせて 100 点満点となります)。出題範囲はその都度発表します。主に基本的な知識を問う問題です。
- ② 学力試験：50 点満点で行います(公民Aと合わせて 100 点満点となります)。その時期までに学習した内容をすべてふまえて応用力をつける問題です。

4. 課題・補習について

各単元終了時に練習問題等の課題を出します。

5. 評価の視点

- ①年間 5 回の定期試験・年間 2 回の学力テストの点数に加え、ノート検査・授業に対する取り組み方なども評価の対象とします。
- ②課題への取り組みを通じて、社会的事象についての知識・理解や思考力・判断力を評価します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>第4章 わたしたちの暮らしと経済</p> <p>1 消費生活と市場経済</p> <p>1 循環する経済</p> <p>2 家計とはなんだろう</p> <p>3 消費者を守るもの、支えるもの</p> <p>4 生産と消費をつなぐもの</p> <p>5 ものの価格の決まり方</p> <p>6 価格のもつ意味</p> <p>2 生産の仕組みと企業・金融</p> <p>1 生産活動をにやう主体</p> <p>2 さまざまな企業</p> <p>3 間接金融の代表、銀行</p> <p>4 直接金融の舞台</p> <p>5 市場経済の中の社会的責任</p> <p>3 財政と政府の役割</p> <p>1 財政が果たす三つの役割</p> <p>2 税金を納めること</p> <p>3 税金の行方と国の借金</p> <p>4 経済政策が目指すもの</p>	<p>経済活動、経済主体、所得、消費者問題の発生と消費者保護、需要と供給、需給曲線</p> <p>寡占・独占、市場の失敗、企業の種類、流通、大企業と中小企業株式会社、企業の社会的責任</p> <p>金融のしくみ、日本銀行</p> <p>財政、財政の問題点、税の種類、財政投融资、物価、景気変動、公債、財政政策</p>	<p>家計を通して経済の基本的なしくみを学習します。</p> <p>銀行、企業などを通して経済の原則を学びます。</p> <p>財政のしくみを理解し、日本が抱える課題について考えます。</p>
2	<p>第5章 安定して暮らせる社会</p> <p>1 労働と社会保障</p> <p>1 働く人たちのいま</p> <p>2 安心して働ける社会</p> <p>3 互いに助け合う社会</p> <p>4 社会保障の充実のために</p> <p>5 暮らしやすいまちづくり</p> <p>2 これからの日本経済の課題</p> <p>1 循環型社会に向けて</p> <p>2 グローバル化する経済</p> <p>3 新たな日本経済のあり方</p>	<p>勤労権、日本の労働慣行と変化</p> <p>社会保障のしくみ、少子高齢化</p> <p>社会資本の充実</p> <p>公害問題、循環型社会、グローバル化、産業の空洞化、一次産品自給率、貧困率、貿易、比較生産費説</p>	<p>労働をとりまく環境と社会保障の仕組み、それらが抱える課題について考えます。</p> <p>日本経済が抱える様々な課題について考えます。</p>
3	<p>第6章 国際社会に生きる私たち</p> <p>1 国際社会と国家</p> <p>1 国際社会を構成する国家</p> <p>2 互いに尊重し合う国家</p> <p>3 国際社会のまとめ役</p> <p>4 結びつきを強める国際社会</p> <p>5 世界の一員として</p> <p>6 民間から始める国際支援</p> <p>2 国際社会が抱える課題</p> <p>1 終わらない地域紛争</p> <p>2 多様性の中で生きる</p> <p>3 安全をおびやかすもの</p> <p>4 なくてはならない食糧と水</p> <p>5 これからの資源とエネルギー</p> <p>6 「生命の星」を守るために</p>	<p>主権、国家の三要素、日本の領土、国際法、国際連合、地域的経済統合、核軍縮、政府開発援助、NPO</p> <p>地域紛争、難民、文化と宗教、南北問題、食糧問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題、</p>	<p>国際政治・経済の現状を知り、国際社会における日本の役割について考えます。</p> <p>国際社会が抱える様々な課題について考えます。</p>